

自習室を利用するには

中央図書館 2F には自習室と自習コーナーがあります。



受付をして、
空いている席へ。



自習室

自習室入口前の
本もオススメ！
ぜひ借りてみてね



自習
コーナー

自習の際はお静かに！
PC の持ち込み可能です。
(電源はありません。)

*利用できない日があります。

詳しくは 自習室カレンダー (HP のお知らせ) をチェック！

編集・発行 長岡市立中央図書館 (0258-32-0658)

図書館HP <https://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp>

図書館メールアドレス nagaoka@lib.city.nagaoka.niigata.jp

ウィー アー
WE'RE

ヤン ジン
YOUNG-JIN

長岡市立中央図書館中高生向け広報誌

ヤンジン Vol. 76 2025. 8



今号の特集！

- 自習室を利用するには
- オススメ本特集 テーマ「MUSIC」
- 中高生向けの絵本紹介



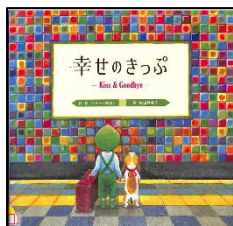
ヤンジンページ

絵本



『世界はこんなに美しい
アンヌとバイクの 20,000 キロ』
エイミー・ノヴェスキー／文
ジュリー・モースタッド／絵 横山 和江／訳
工学図書 [山本のえほん]

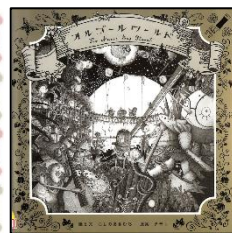
今から 50 年以上前、バイクで世界一周をした最初の女性をモデルにした絵本です。相棒のバイクとともに旅した様子が、美しいイラストと旅先の空気が感じられるような文章で表現されています。



『幸せのきっぷ』
ジミー／作・絵 岸田 登美子／訳
現代企画室

3年に1度開催される大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレのプロジェクトで、JR 飯山線の車窓から生まれた絵本です。主人公樹の心象風景と、四季折々の豊かな自然の景色が色鮮やかに描かれます。これから先の樹の成長を願いたくなる1冊です。

子どものころに読んだ絵本を覚えていませんか？
子ども向けだけでなく、大人が読んでも面白い絵本、
心に残る絵本が世の中にはたくさんあります。



『オルゴールワールド』
タモリ／原案 にしの あきひろ／絵と文
幻冬舎

空中帝国で生まれ育ったカンパネラ。彼は、人間が生きられないと知られる5000m下の「森」に、女の子が住んでいるのを発見します。大人になったカンパネラはついに森へ向かい、あの日の少女と会いました。お互いの世界の当たり前を教え合いますが、やがて彼が見つけた2つの世界を繋ぐ魔法とは…。



『ジャーニー』
長田 弘／詩 渡邊 良重／絵
蘭部 悦子／ジュエリー リトルモア

森の中で色を探す少女たち。彼女たちが見つけたものを、ジュエリーで表現すると…。イラストとジュエリーの写真が、詩と合わさって、幻想的な世界を作り出します。

●本の表紙掲載については、出版社の許諾を得ています。

今回のテーマは…

MUSIC

ふとした瞬間、聞こえてくる音楽。晴れやかな気分になったり、切なくなったり、音楽にどこか心を揺さぶられます。本の世界で音を楽しんでみませんか。



『音楽ってなんだろう？ 知れば知るほど楽しくなる』

池辺 晋一郎／著 平凡社



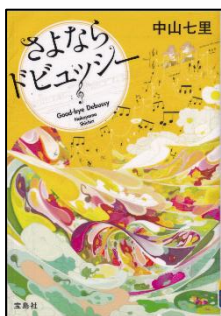
音楽はどうして生まれたの？作曲って誰でもできる？音楽についての様々な疑問に答えてくれるのは数々の映画・ドラマに関する曲を作成した池辺さん。自身が携わった仕事を例にわかりやすく解説しています。楽器を演奏したり作曲したりすることは簡単ではありませんが、試行錯誤して完成させた作品は音楽を作る人・聞く人どちらにも強い喜びを与えることが伝わってきます。



『楽器の歴史』 佐伯 茂樹／著 河出書房新社

世界には様々な楽器があります。ファゴットは18世紀頃の構造をそのまま残しているため、親指1本で10個のキーを操作するそうです。また、美術品としての美が求められた時代には人や動物の頭の彫刻が施された楽器もありました。

現在、オーケストラで使われる楽器がどのような変化をたどって今の形になったのか、実物の写真を見ながら知ることができます。



『さよならドビュッシー』 中山 七里／著 宝島社

高校入学直前に、火事で全身に大火傷を負った遥。彼女にはピアニストになるという夢があります。奇跡的に命は取りとめたけれど、後遺症で指はまともに動かず、その夢は絶望的に思えました。そんな彼女の前に現れたのは、知る人ぞ知る天才ピアニスト岬洋介。岬と共に、一度は失いかけた夢に再び挑む遥ですが…。物語のラスト、タイトルの意味を噛みしめることになります。

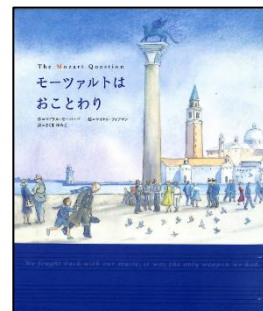


『モーツァルトはおことわり』 マイケル・モーパーゴ／作

マイケル・フォアマン／絵 さくま ゆみこ／訳 岩崎書店



新米記者のレスリーは、デスクの代役で世界的に有名なバイオリニストの、パオロ・レヴィのインタビューをすることに。大きな仕事に張り切るレスリーですが、デスクから謎めいた忠告を受けます。「モーツァルトの件についての質問はだめ」。そこにはパオロ・レヴィの生い立ちと、彼の両親の悲しい過去が隠されていました…。



『ヒトリコ』 額賀 澤／著 小学館



小学生の頃、転校していった冬希の飼っていた金魚を殺したと濡れ衣を着せられた日都子。彼女は偶然、虐めから助けてくれた近所のキュー婆ちゃんの元でピアノを習い始めました。4年後のある日、冬希が地元へ再び引っ越してきて、同じ高校へ進学します。冬希に文化祭有志での合唱の伴奏を頼まれますが、誰とも連^{つる}まず、独りを選んだ日都子は拒否しました。しかし冬希にある条件を持ち掛けられ…。